



政府統計

鉱山保安統計年報

〔 確 報 〕

令和3年

経済産業省産業保安グループ

説 明

1. 鉱山保安統計年報は、鉱山保安統計月報（速報値）の1月号から12月号を集計し補正したものである。
2. 図表及び災害統計に用いた符号は、次のとおりである。

「0」 鉱山災害による死傷者がいないもの。

「0.00」 小数点第3位において四捨五入しても小数点第2位に満たないもの。

「 」 該当のないもの。

3. 鉱山保安統計年報の見方

- (1) 鉱山労働者数は、月末現在の在籍者数を年間で平均した数値である。なお、月別については各月末現在の在籍者数である。
- (2) 稼働延人員とは、各鉱山の鉱山労働者が実際に働いた稼働者数を累計したものをいい、1年間の場合は年稼働延人員、1ヶ月間の場合は月稼働延人員という。
- (3) 稼働延時間とは、各鉱山の鉱山労働者が実際に働いた稼働時間を累計したものをいい、1年間の場合は年稼働延時間、1ヶ月間の場合は月稼働延時間という。
- (4) り災者（死傷者）とは、鉱山災害のため、業務上死傷したものをいい、業務上の疾病は含んでいない。
- (5) 死亡者とは、鉱山災害のため死亡した者をいう。
- (6) 重傷者とは、症状の重い者（4週間以上休業）又は2週間以上4週間未満休業の者をいう。
- (7) 軽傷者とは、3日以上2週間未満休業の者をいう。
- (8) 損失日数とは、実際に休業した日数を損失日数として計上するものとし、本統計年報集計時において治癒となっていない場合は医師の診断による休業日数を計上している。また、死亡は7,500日とし、医師の診断による永久完全労働不能者又は永久一部労働不能者に対しては身体障害等級に該当する損失日数を計上している。
- (9) 災害率とは、鉱山災害による災害の回数、り災者数によって災害の発生頻度を表すもので、稼働延100万人当たりの災害率と稼働延100万時間当たりの災害率を算出している。

その算出方法は

$$\text{災害率} = \frac{\text{災害の回数、り災者数}}{\text{稼働延人員}} \times 100 \text{ 万人}$$

$$\text{災害率} = \frac{\text{災害の回数、り災者数}}{\text{稼働延時間}} \times 100 \text{ 万時間}$$

- (10) 強度率とは、鉱山災害による労働日数の損失によって災害の重軽度を表すもので、稼働延1,000時間当たりの強度率を算出している。

その算出方法は

$$\text{強度率} = \frac{\text{損失日数}}{\text{稼働延時間}} \times 1,000 \text{ 時間}$$

目次

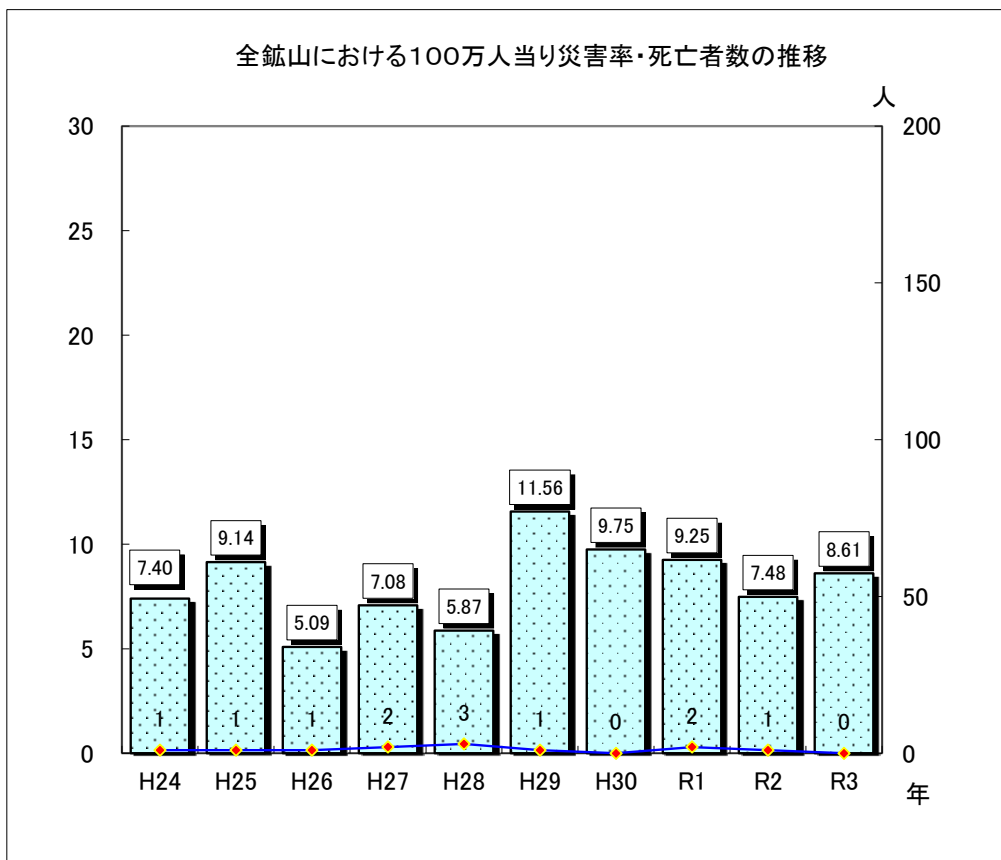
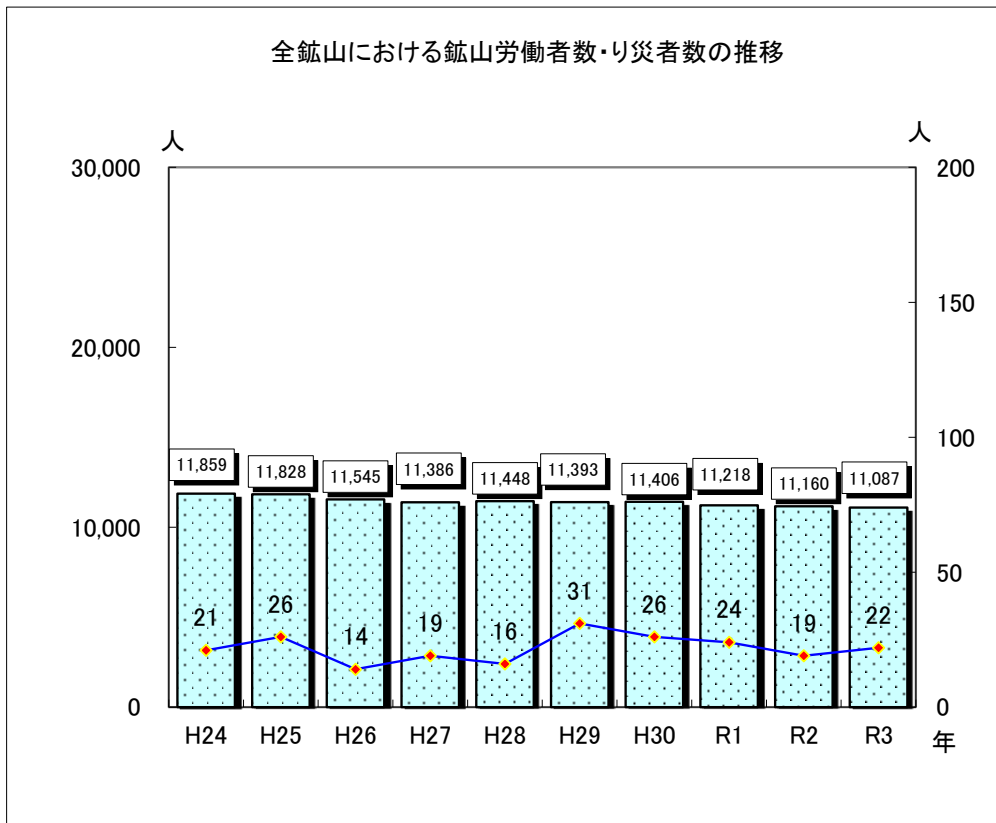
図 表

第1図	全鉱山における災害の推移	1
第2図	全鉱山における強度率の推移	2
第3図	石炭鉱山における災害の推移	3
第4図	亜炭鉱山における災害の推移	4
第5図	金属・非金属鉱山における災害の推移	5
第6図	石灰石鉱山における災害の推移	6
第7図	石油鉱山における災害の推移	7

災害統計

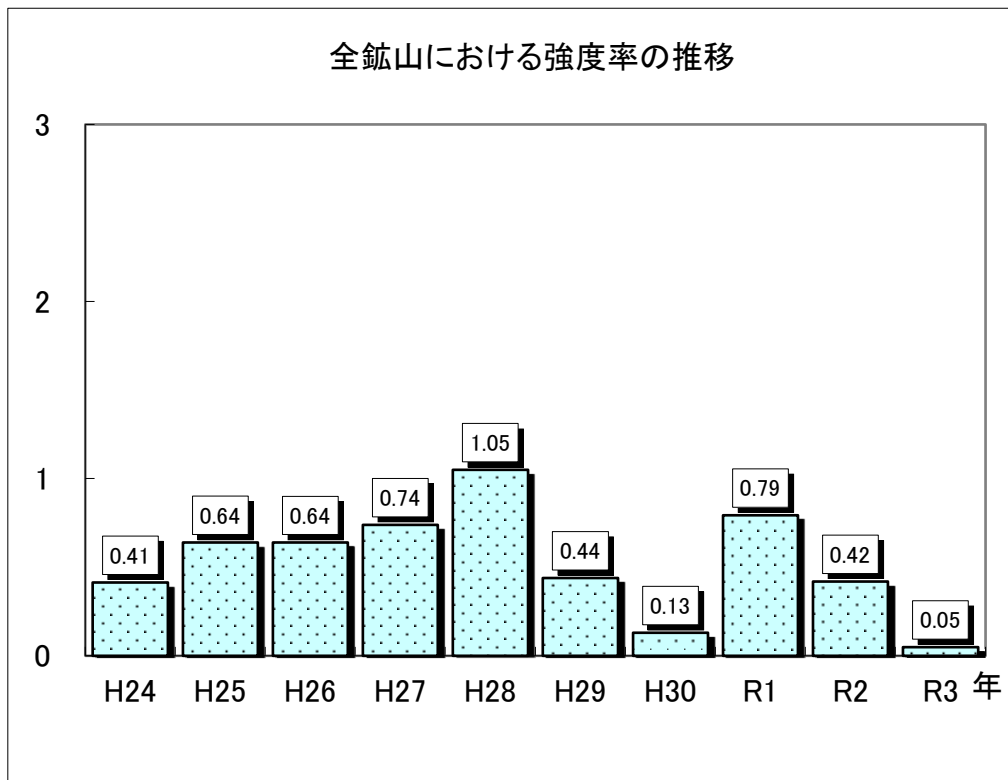
第1表	令和3年全鉱山部門別災害調	8
第2表	令和3年全鉱山月別災害調	12
第3表	令和3年石炭鉱山月別災害調	14
第4表	令和3年石炭鉱山監督部別災害調	16
第5表	令和3年石炭鉱山事由別災害調	17
第6表	令和3年亜炭鉱山月別災害調	18
第7表	令和3年亜炭鉱山監督部別災害調	20
第8表	令和3年亜炭鉱山事由別災害調	21
第9表	令和3年金属非金属鉱山月別災害調	22
第10表	令和3年金属非金属鉱山監督部別災害調	24
第11表	令和3年金属非金属鉱山事由別災害調	25
第12表	令和3年金属鉱山月別災害調	26
第13表	令和3年金属鉱山監督部別災害調	28
第14表	令和3年金属鉱山事由別災害調	29
第15表	令和3年非金属鉱山月別災害調	30
第16表	令和3年非金属鉱山監督部別災害調	32
第17表	令和3年非金属鉱山事由別災害調	33
第18表	令和3年石灰石鉱山月別災害調	34
第19表	令和3年石灰石鉱山監督部別災害調	36
第20表	令和3年石灰石鉱山事由別災害調	37
第21表	令和3年石油鉱山月別災害調	38
第22表	令和3年石油鉱山監督部別災害調	40
第23表	令和3年石油鉱山事由別災害調	41

第1図

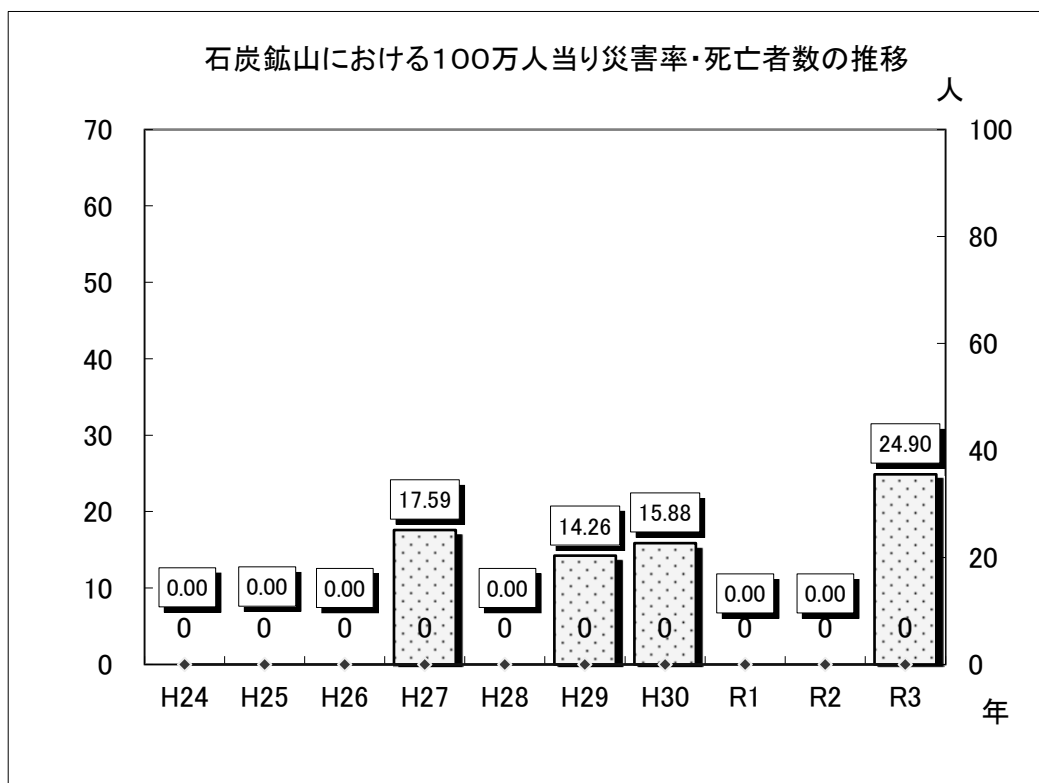
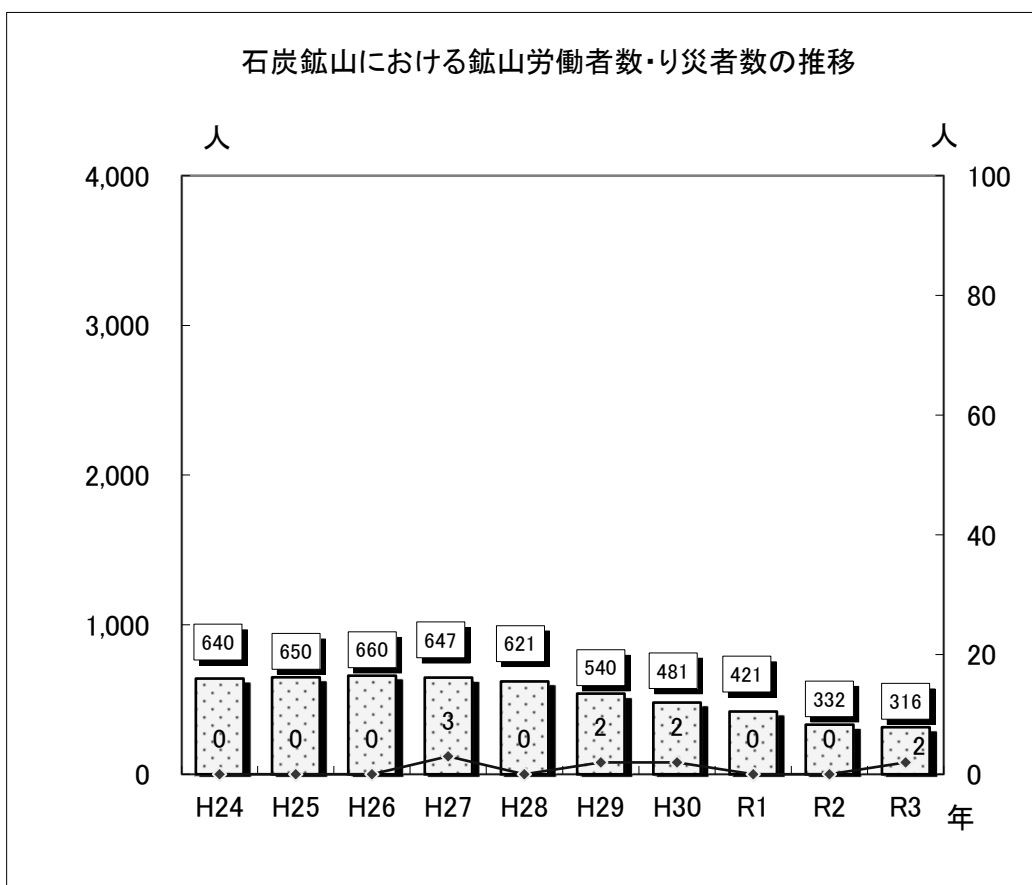


(注) 各図上段: 棒グラフ-鉱山労働者数
折れ線グラフ-り災者数
下段: 棒グラフ-稼働延100万人当り災害率
折れ線グラフ-死亡者数

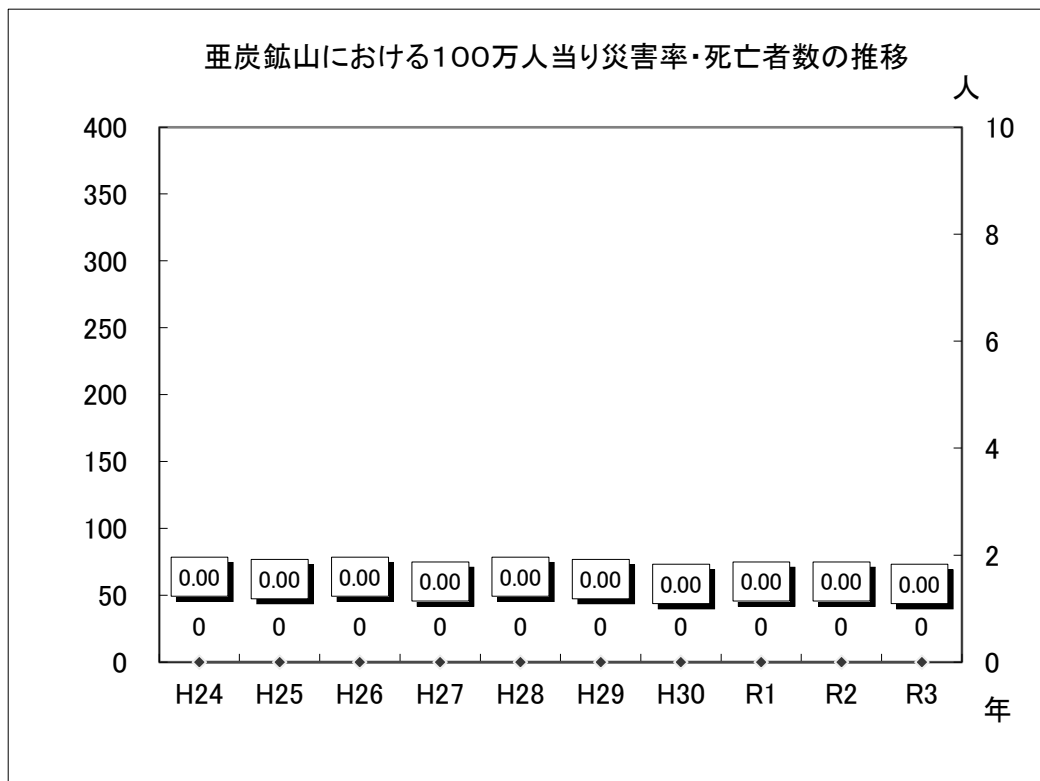
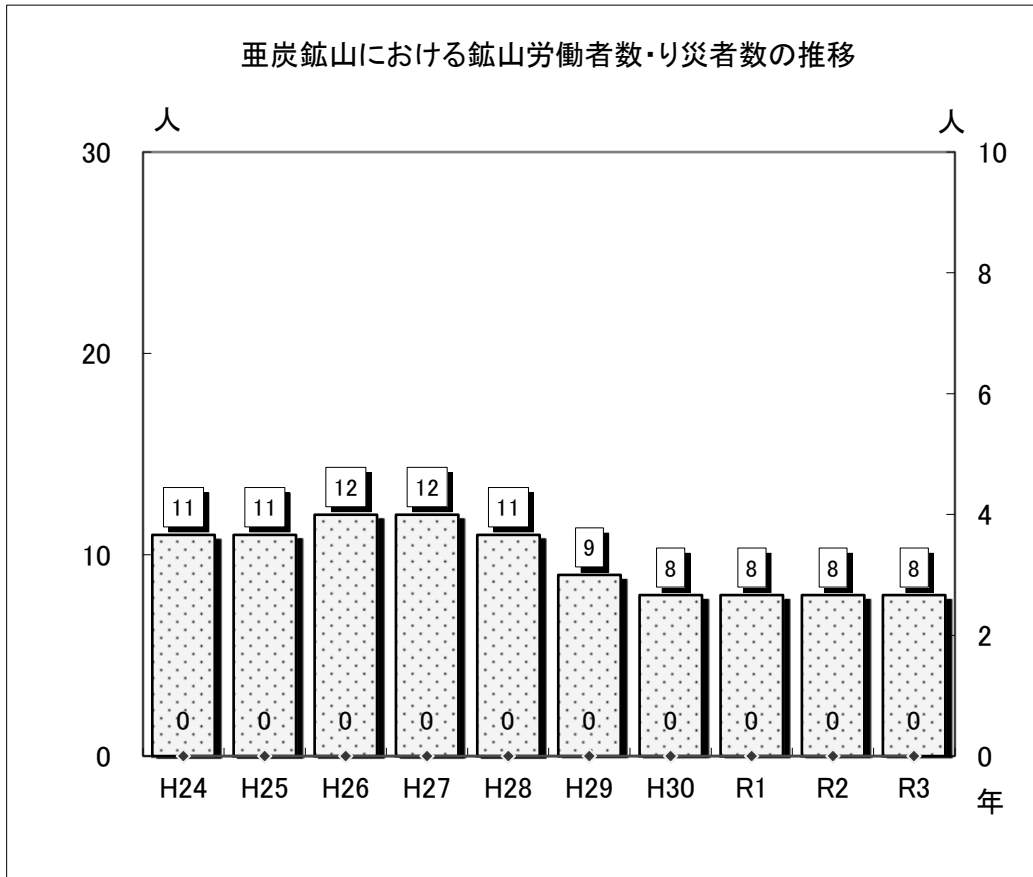
第2図



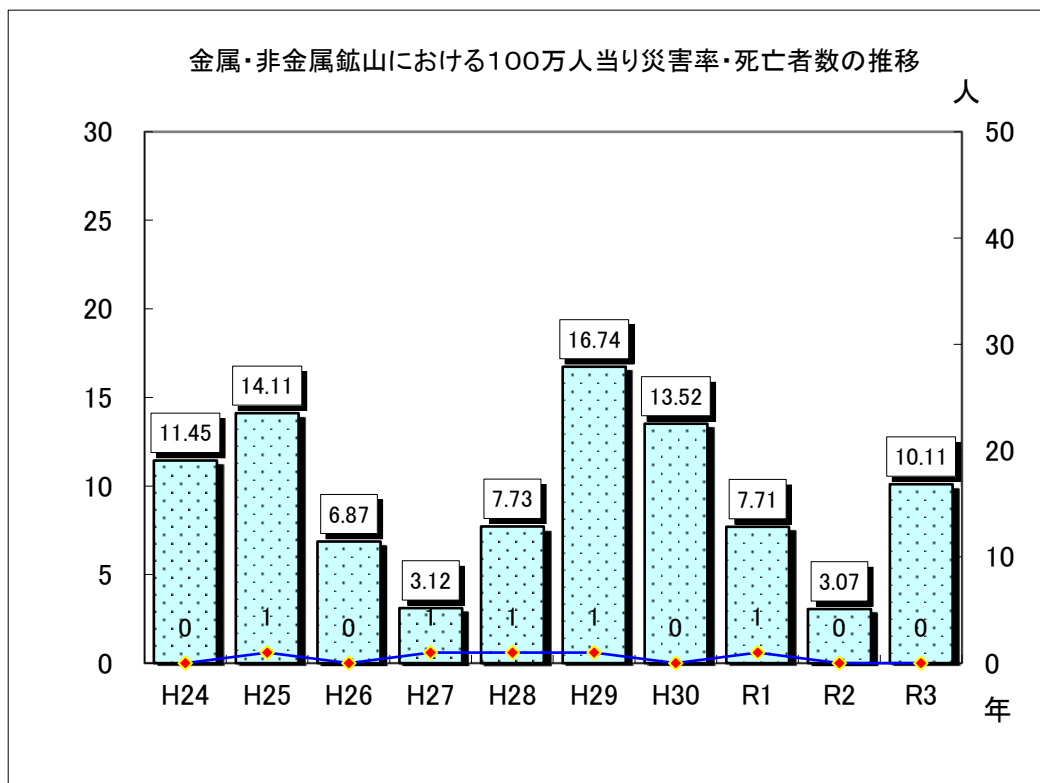
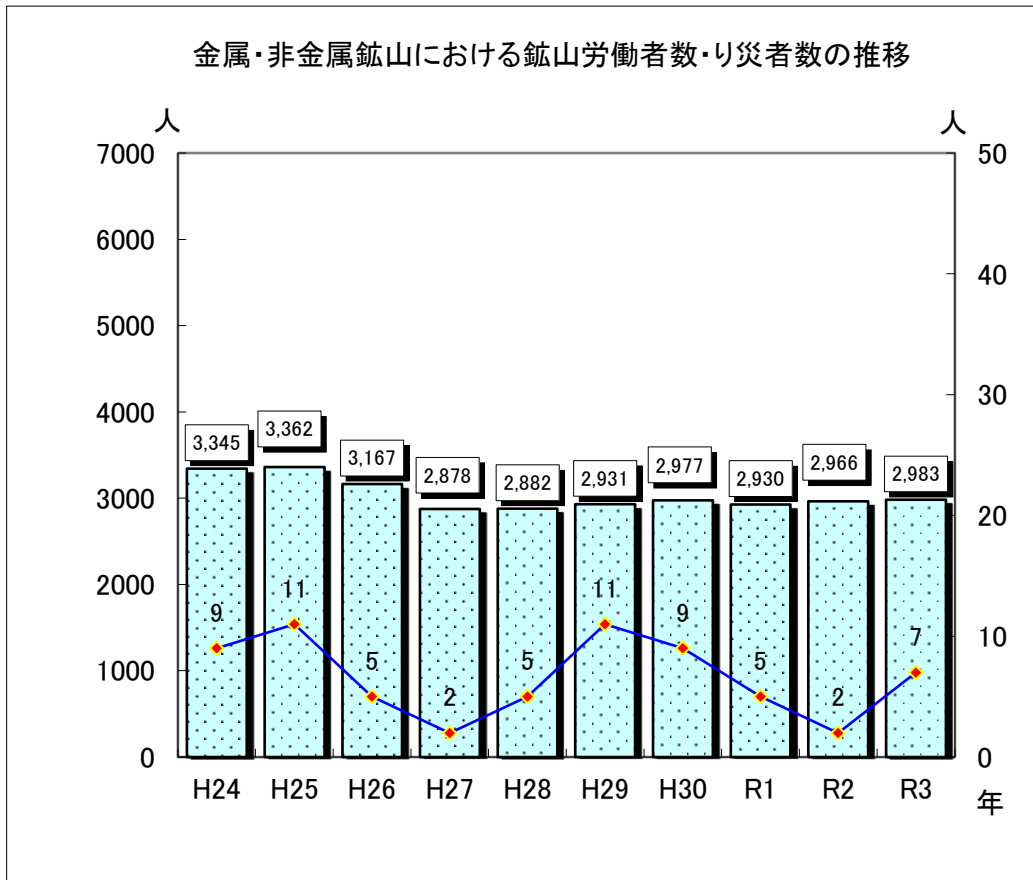
第3図



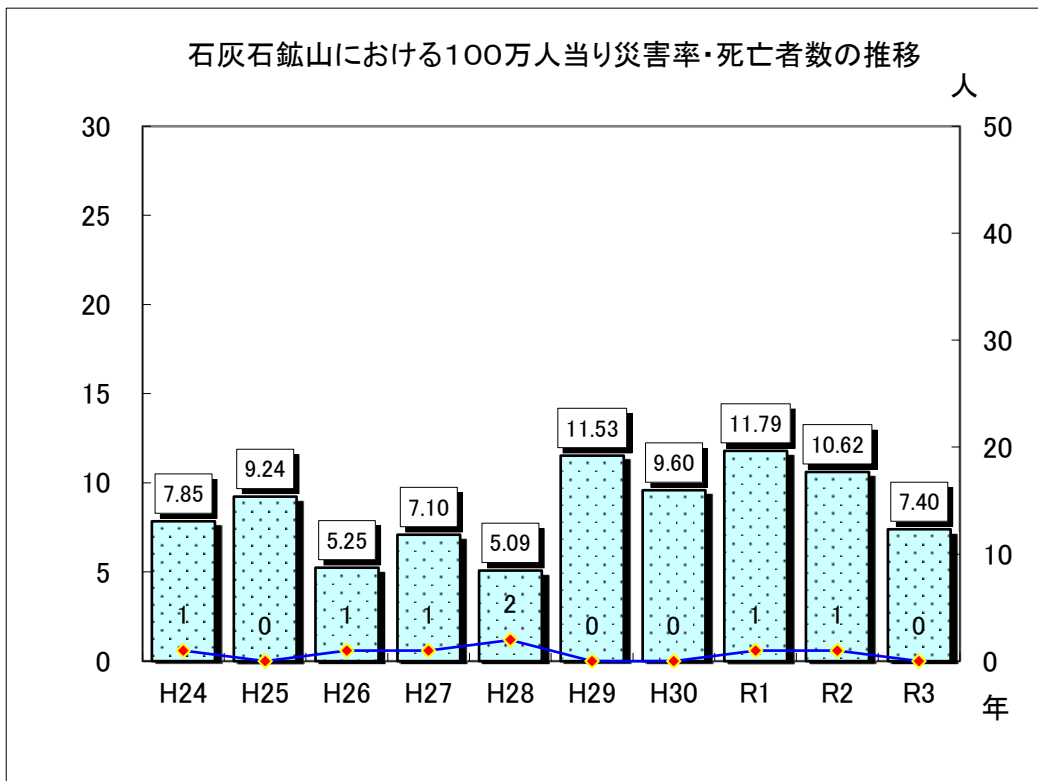
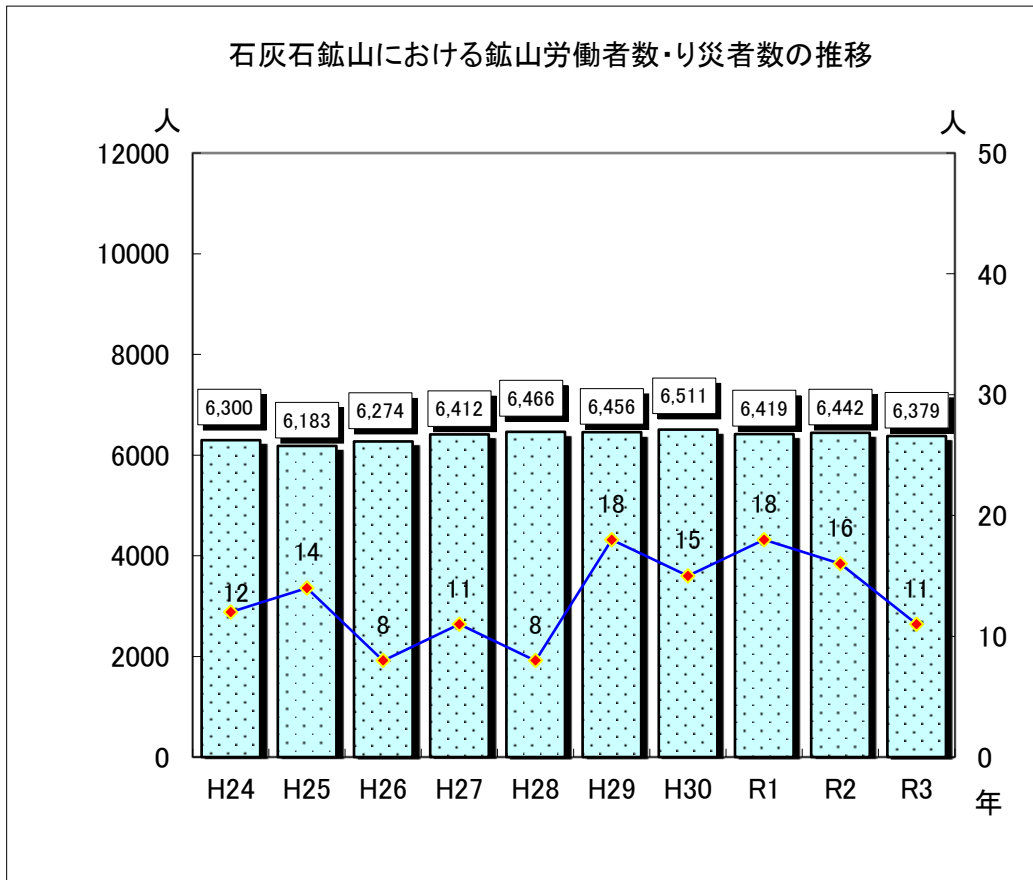
第4図



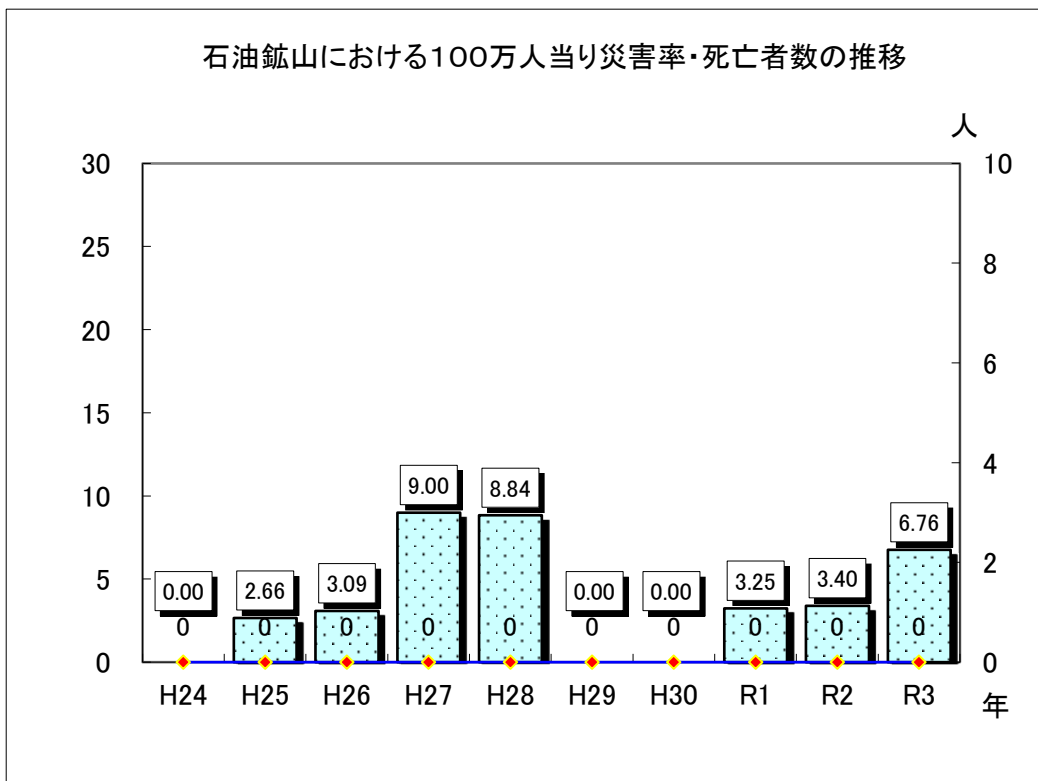
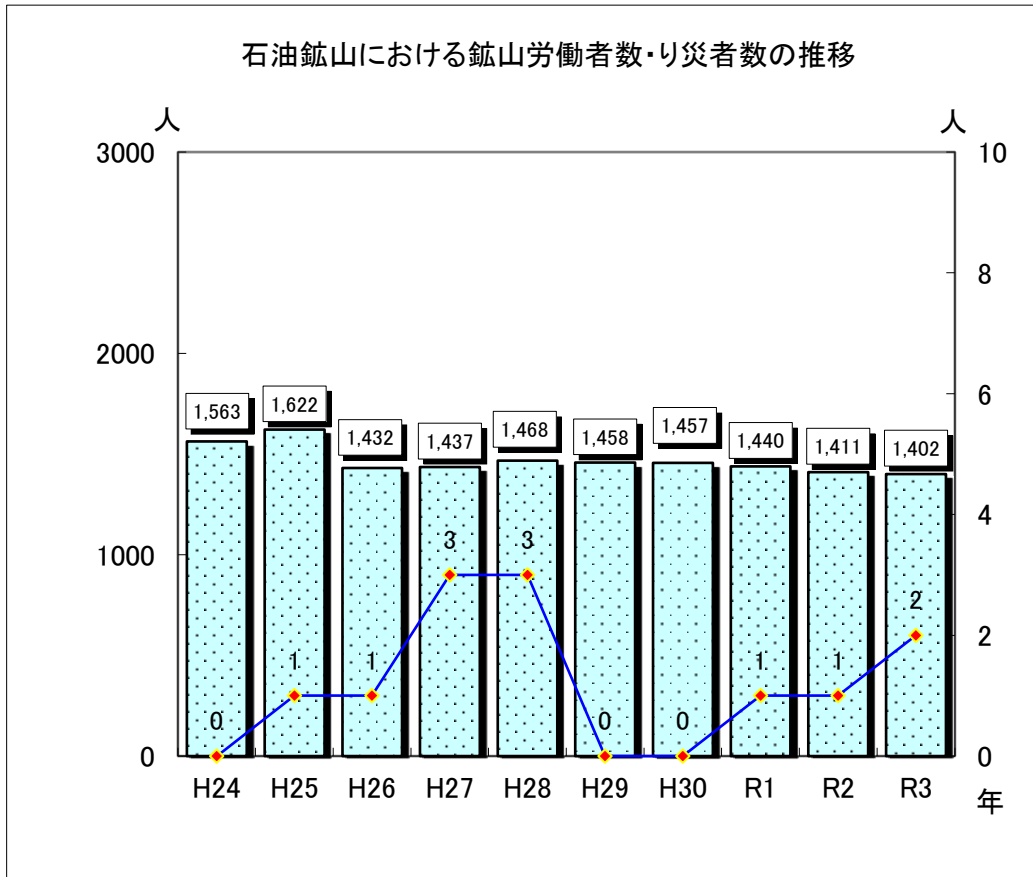
第5図



第6図



第7図



第1表 令和3年全鉱山部門別災害調

部門別	稼行 鉱山数	鉱山労働者数			稼 坑内
		坑内	坑外	計	
全鉱山	458	470	10,616	11,087	108,459
石炭鉱山	9	97	218	316	26,719
亜炭鉱山	2	2	6	8	389
金属非金属鉱山	157	197	2,786	2,983	41,956
金属鉱山	29	171	1,431	1,603	36,122
非金属鉱山	128	26	1,354	1,380	5,834
石灰石鉱山	232	174	6,205	6,379	39,395
石油鉱山	58		1,402	1,402	

部門別	坑内災害					坑外災害				
	回数	死亡	重傷		軽傷	計	回数	死亡	重傷	
			4週以上	2週以上 4週未満					4週以上	2週以上 4週未満
全鉱山	7		1		1	2	26		12	6
石炭鉱山	1				1	1	1		1	
亜炭鉱山										
金属非金属鉱山	4		1			1	7		2	2
金属鉱山	4		1			1	1			1
非金属鉱山							6		2	1
石灰石鉱山	2						16		7	4
石油鉱山							2		2	

働 延 人 員		稼 働 延 時 間		
坑外	計	坑内	坑外	計
2,448,038	2,556,497	877,146	19,129,132	20,006,278
53,595	80,314	232,954	469,131	702,085
902	1,291	3,112	7,216	10,328
650,200	692,156	326,621	4,780,267	5,106,888
351,947	388,069	281,801	2,443,898	2,725,699
298,253	304,087	44,820	2,336,369	2,381,189
1,447,653	1,487,048	314,459	11,604,335	11,918,794
295,688	295,688		2,268,183	2,268,183

害		坑 内 外 災 害					損 失 日 数			
軽傷	計	回数	死亡	重 傷		軽傷	計	坑内	坑外	計
				4週以上	2週以上 4週未満					
2	20	33		13	6	3	22	51	1,021	1,072
	1	2		1		1	2	7	30	37
2	6	11		3	2	2	7	44	212	256
	1	5		1	1		2	44	15	59
2	5	6		2	1	2	5		197	197
	11	18		7	4		11		584	584
	2	2		2			2		195	195

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算（四捨五入）により表間で値が違う場合があります。

部門別	稼働延 1 0 0							
	坑内災害						坑	
	回数	死亡	重傷		軽傷	計	回数	死亡
			4週以上	2週以上 4週未満				
全鉱山	64.54		9.22		9.22	18.44	10.62	
石炭鉱山	37.43				37.43	37.43	18.66	
亜炭鉱山								
金属非金属鉱山	95.34		23.83			23.83	10.77	
金属鉱山	110.74		27.68			27.68	2.84	
非金属鉱山							20.12	
石灰石鉱山	50.77						11.05	
石油鉱山							6.76	

部門別	稼働延 1 0 0							
	坑内災害						坑	
	回数	死亡	重傷		軽傷	計	回数	死亡
			4週以上	2週以上 4週未満				
全鉱山	7.98		1.14		1.14	2.28	1.36	
石炭鉱山	4.29				4.29	4.29	2.13	
亜炭鉱山								
金属非金属鉱山	12.25		3.06			3.06	1.46	
金属鉱山	14.19		3.55			3.55	0.41	
非金属鉱山							2.57	
石灰石鉱山	6.36						1.38	
石油鉱山							0.88	

部門別	強度率		
	坑内	坑外	計
全鉱山	0.06	0.05	0.05
石炭鉱山	0.03	0.06	0.05
亜炭鉱山			
金属非金属鉱山	0.13	0.04	0.05
金属鉱山	0.16	0.01	0.02
非金属鉱山		0.08	0.08
石灰石鉱山		0.05	0.05
石油鉱山		0.09	0.09

0 万人 当 たり 災 害 率									
外 災 害				坑 内 外 災 害					
重 傷		軽 傷	計	回 数	死 亡	重 傷		軽 傷	計
4週以上	2週以上 4週未満					4週以上	2週以上 4週未満		
4.90	2.45	0.82	8.17	12.91		5.09	2.35	1.17	8.61
18.66			18.66	24.90		12.45		12.45	24.90
3.08	3.08	3.08	9.23	15.89		4.33	2.89	2.89	10.11
	2.84		2.84	12.88		2.58	2.58		5.15
6.71	3.35	6.71	16.76	19.73		6.58	3.29	6.58	16.44
4.84	2.76		7.60	12.10		4.71	2.69		7.40
6.76			6.76	6.76		6.76			6.76

万 時 間 当 たり 災 害 率									
外 災 害				坑 内 外 災 害					
重 傷		軽 傷	計	回 数	死 亡	重 傷		軽 傷	計
4週以上	2週以上 4週未満					4週以上	2週以上 4週未満		
0.63	0.31	0.10	1.05	1.65		0.65	0.30	0.15	1.10
2.13			2.13	2.85		1.42		1.42	2.85
0.42	0.42	0.42	1.26	2.15		0.59	0.39	0.39	1.37
	0.41		0.41	1.83		0.37	0.37		0.73
0.86	0.43	0.86	2.14	2.52		0.84	0.42	0.84	2.10
0.60	0.34		0.95	1.51		0.59	0.34		0.92
0.88			0.88	0.88		0.88			0.88

第2表 令和3年全鉱山月別災害調

年月別	稼行 鉱山数	鉱山労働者数	稼働延人員	稼働延時間
令和元年	497	11,217	2,593,397	20,578,193
令和2年	466	11,160	2,538,812	20,149,921
令和3年	458	11,087	2,556,497	20,006,278
1月	466	10,872	201,682	1,540,825
2月	467	10,889	200,415	1,562,038
3月	466	10,975	221,664	1,737,959
4月	465	11,075	218,301	1,709,110
5月	463	11,207	204,305	1,604,775
6月	464	11,218	223,222	1,753,734
7月	465	11,227	222,241	1,756,806
8月	464	11,225	205,564	1,629,161
9月	463	11,110	212,809	1,640,238
10月	463	11,066	217,874	1,710,802
11月	460	11,164	216,827	1,703,767
12月	458	11,013	211,593	1,657,063

年月別	稼働延100万人当たり災害率						回数
	回数	死亡	重傷		軽傷	計	
			4週以上	2週以上 4週未満			
令和元年	19.67	0.77	4.24	1.54	2.31	9.25	2.48
令和2年	12.60	0.39	3.94	1.58	1.58	7.48	1.59
令和3年	12.91		5.09	2.35	1.17	8.61	1.65
1月	19.83		4.96			4.96	2.60
2月	4.99		4.99			4.99	0.64
3月	9.02		4.51		4.51	9.02	1.15
4月	4.58						0.59
5月	9.79			4.89		4.89	1.25
6月	8.96		4.48			4.48	1.14
7月	9.00			4.50	4.50	9.00	1.14
8月	19.46		9.73	4.86		14.59	2.46
9月	18.80		14.10	4.70		18.80	2.44
10月	22.95		4.59		4.59	9.18	2.92
11月	18.45		4.61	9.22		13.84	2.35
12月	9.45		9.45			9.45	1.21

回数	り 災 者 数				損失 日数	
	死亡	重傷		軽傷		計
		4週以上	2週以上 4週未満			
51	2	11	4	6	24	16,345
32	1	10	4	4	19	8,461
33		13	6	3	22	1,072
4		1			1	30
1		1			1	30
2		1		1	2	40
1						
2			1		1	50
2		1			1	33
2			1	1	2	26
4		2	1		3	205
4		3	1		4	192
5		1		1	2	131
4		1	2		3	141
2		2			2	194

家働延100万時間当たり災害率					強度率
死亡	重傷		軽傷	計	
	4週以上	2週以上 4週未満			
0.10	0.53	0.19	0.29	1.17	0.79
0.05	0.50	0.20	0.20	0.94	0.42
	0.65	0.30	0.15	1.10	0.05
	0.65			0.65	0.02
	0.64			0.64	0.02
	0.58		0.58	1.15	0.02
		0.62		0.62	0.03
	0.57			0.57	0.02
		0.57	0.57	1.14	0.01
	1.23	0.61		1.84	0.13
	1.83	0.61		2.44	0.12
	0.58		0.58	1.17	0.08
	0.59	1.17		1.76	0.08
	1.21			1.21	0.12

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違う場合があります。

第3表 令和3年石炭鉱山月別災害調

年月別	稼行 鉱山数	鉱山労働者数	稼働延人員	稼働延時間
令和元年	9	420	109,503	943,909
令和2年	9	332	84,703	739,162
令和3年	9	316	80,314	702,085
1月	9	316	6,355	55,698
2月	9	316	6,418	56,656
3月	9	309	7,078	61,768
4月	9	307	6,838	60,079
5月	9	325	6,362	55,550
6月	9	320	7,066	61,537
7月	9	313	7,056	61,576
8月	9	317	6,245	54,329
9月	9	322	6,872	59,918
10月	9	324	6,891	59,915
11月	9	306	6,645	58,096
12月	9	314	6,488	56,963

年月別	稼働延100万人当たり災害率						回数
	回数	死亡	重傷		軽傷	計	
			4週以上	2週以上 4週未満			
令和元年							
令和2年							
令和3年	24.90		12.45		12.45	24.90	2.85
1月							
2月	155.81		155.81			155.81	17.65
3月	141.28				141.28	141.28	16.19
4月							
5月							
6月							
7月							
8月							
9月							
10月							
11月							
12月							

回数	り 災 者 数				損失 日数	
	死亡	重傷		軽傷		計
		4週以上	2週以上 4週未満			
2		1		1	2	37
1		1			1	30
1				1	1	7

稼働延100万時間当たり災害率					強度率
死亡	重傷		軽傷	計	
	4週以上	2週以上 4週未満			
	1.42		1.42	2.85	0.05
	17.65			17.65	0.53
			16.19	16.19	0.11

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違う場合があります。

第4表 令和3年石炭鉱山監督部別災害調

監督部別	稼行 鉱山数	月報 提出 鉱山数	月末 鉱山 労働者数	稼働 延人員	稼働 延時間	回数	罹災者数					損日 数
							死亡	重傷		軽傷	計	
								4週以上	2週以上 4週未満			
北海道	9	9	316	80,314	702,085	2		1		1	2	37
東北												
関東												
中部												
近畿												
中国												
四国												
九州												
那覇												
計	9	9	316	80,314	702,085	2		1		1	2	37

監督部別	稼働延100万人当たり災害率					稼働延100万時間当たり災害率					強度率	
	回数	死亡	重傷		軽傷	回数	死亡	重傷		軽傷		計
			4週以上	2週以上 4週未満				4週以上	2週以上 4週未満			
北海道	24.90		12.45		12.45	2.85		1.42		1.42	2.85	0.05
東北												
関東												
中部												
近畿												
中国												
四国												
九州												
那覇												
計	24.90		12.45		12.45	2.85		1.42		1.42	2.85	0.05

	月末労働者数			稼働延人員			稼働延時間		
	直轄	請負	計	直轄	請負	計	直轄	請負	計
坑内	91	6	97	25,169	1,550	26,719	219,004	13,950	232,954
坑外	111	108	218	27,239	26,356	53,595	223,003	246,128	469,131
計	202	114	316	52,408	27,906	80,314	442,007	260,078	702,085

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算（四捨五入）により表間で値が違ふ場合があります。

第5表 令和3年石炭鉱山事由別災害調

種別	事由	回数	死亡	負傷		合計	損失日数	
				重傷				軽傷
				4週以上	2週以上 4週未満			
坑内	落盤又は側壁の崩壊							
	浮石の落下（前項以外）							
	ガス又は炭じんの爆発							
	ガス中毒又は窒息							
	ガス突出							
	山はね							
	自然発火							
	発破又は火薬類のため							
	立坑巻揚装置のため	チェーン又はロープの切断						
		その他の						
	前項以外の運搬装置のため	チェーン又はロープの切断						
		鉱車の逸走又は脱線						
		鉱車に接触又は挟撃						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
	コンベアのため	コンベアのため						
		その他の						
	出火							
	火災							
	機械のため							
	電気のため							
飛石又は転石								
工具のため								
粉じんのため								
落下物又は倒壊物のため（り災者の持っている物以外）								
取扱中の器材鉱物等のため	1				1	7		
墜落								
転倒								
その他の								
計		1			1	7		
坑外	岩盤の崩壊							
	発破又は火薬類のため							
	火災							
	風水害							
	運搬装置のため	鉱車のため						
		架空索道のため						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
		コンベアのため						
	その他の	その他の						
		その他の						
	さく井機械のため							
	機械のため（石油鉱山については前項以外）							
	電気のため							
	ボイラーの破裂							
	しゃく熱溶融物のため							
	劇物のため							
	飛石又は転石							
	工具のため							
	粉じんのため							
	落下物又は倒壊物のため（り災者の持っている物以外）							
取扱中の器材鉱物等のため								
墜落	1		1		1	30		
転倒								
その他の								
計		1	1		1	30		
総計		2		1	1	37		

第6表 令和3年亜炭鉱山月別災害調

年月別	稼行 鉱山数	鉱山労働者数	稼働延人員	稼働延時間
令和元年	2	8	1,375	11,000
令和2年	2	8	1,342	10,736
令和3年	2	8	1,291	10,328
1月	2	7	86	688
2月	2	7	93	744
3月	2	7	110	880
4月	2	9	119	952
5月	2	9	111	888
6月	2	7	128	1,024
7月	2	7	113	904
8月	2	7	88	704
9月	2	9	113	904
10月	2	9	110	880
11月	2	9	120	960
12月	2	7	100	800

年月別	稼働延100万人当たり災害率					回数	
	回数	死亡	重傷		軽傷		計
			4週以上	2週以上 4週未満			
令和元年							
令和2年							
令和3年							
1月							
2月							
3月							
4月							
5月							
6月							
7月							
8月							
9月							
10月							
11月							
12月							

回数	り 災 者 数				損失 日数	
	死亡	重傷		軽傷		計
		4週以上	2週以上 4週未満			

稼働延100万時間あたり災害率					強度率
死亡	重傷		軽傷	計	
	4週以上	2週以上 4週未満			

釜山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違う場合があります。

第7表 令和3年亜炭鉱山監督部別災害調

監督部別	稼行 鉱山数	月報 提出 鉱山数	月末 鉱山 労働者数	稼働 延人員	稼働 延時間	回数	罹災者数					損日	失数	
							死亡	軽傷	重傷		計			
									4週以上	2週以上 4週未満				
北海道														
東北	1	1	1	48	384									
関東	1	1	7	1,243	9,944									
中部														
近畿														
中国														
四国														
九州														
那覇														
計	2	2	8	1,291	10,328									

監督部別	稼働延100万人当たり災害率					稼働延100万時間当たり災害率					強度率		
	回数	死亡	重傷		軽傷	回数	死亡	重傷		軽傷		計	
			4週以上	2週以上 4週未満				4週以上	2週以上 4週未満				
北海道													
東北													
関東													
中部													
近畿													
中国													
四国													
九州													
那覇													
計													

	月末労働者数			稼働延人員			稼働延時間		
	直轄	請負	計	直轄	請負	計	直轄	請負	計
坑内	2		2	389		389	3,112		3,112
坑外	6		6	902		902	7,216		7,216
計	8		8	1,291		1,291	10,328		10,328

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算（四捨五入）により表間で値が違ふ場合があります。

第8表 令和3年亜炭鉱山事由別災害調

事由	種別	回数	死亡	負傷		合計	損失日数	
				重傷				
				4週以上	2週以上 4週未満			
坑内	落盤又は側壁の崩壊							
	浮石の落下（前項以外）							
	ガス又は炭じんの爆発							
	ガス中毒又は窒息							
	ガス突出							
	山はね							
	自然発火							
	発破又は火薬類のため							
	立坑巻揚装置のため	チェーン又はロープの切断						
		その他						
	前項以外の運搬装置のため	チェーン又はロープの切断						
		鉱車の逸走又は脱線						
		鉱車に接触又は挟撃						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
		コンベアのため						
	その他							
	出水							
	火災							
	機械のため							
	電気のため							
	飛石又は転石							
	工具のため							
	粉じんのため							
落下物又は倒壊物のため（り災者の持っている物以外）								
取扱中の器材鉱物等のため								
墜落								
転倒								
その他								
計								
坑外	岩盤の崩壊							
	発破又は火薬類のため							
	火災							
	風水害							
	運搬装置のため	鉱車のため						
		架空索道のため						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
		コンベアのため						
	その他							
	さく井機械のため							
	機械のため（石油鉱山については前項以外）							
	電気のため							
	ボイラーの破裂							
	しゃく熱熔融物のため							
	劇物のため							
	飛石又は転石							
	工具のため							
	粉じんのため							
	落下物又は倒壊物のため（り災者の持っている物以外）							
	取扱中の器材鉱物等のため							
	墜落							
	転倒							
	その他							
計								
総計								

第9表 令和3年金属非金属鉱山月別災害調

年月別	稼行 鉱山数	鉱山労働者数	稼働延人員	稼働延時間
令和元年	187	2,930	648,624	4,996,162
令和2年	158	2,966	651,716	5,056,508
令和3年	157	2,983	692,156	5,106,888
1月	158	2,891	51,712	378,968
2月	160	2,928	54,585	389,902
3月	159	2,950	60,898	449,143
4月	159	3,000	59,188	437,779
5月	157	3,026	55,075	409,144
6月	157	2,971	60,157	447,918
7月	158	2,997	59,461	439,085
8月	158	3,011	55,099	406,628
9月	158	3,020	58,988	437,273
10月	158	3,026	60,039	444,409
11月	157	3,023	59,918	445,603
12月	157	2,947	57,036	421,036

年月別	稼働延100万人当たり災害率						回数
	回数	死亡	重傷		軽傷	計	
			4週以上	2週以上 4週未満			
令和元年	15.42	1.54	1.54	1.54	3.08	7.71	2.00
令和2年	7.67			1.53	1.53	3.07	0.99
令和3年	15.89		4.33	2.89	2.89	10.11	2.15
1月	19.34						2.64
2月							
3月							
4月							
5月							
6月	16.62						2.23
7月	33.64			16.82	16.82	33.64	4.55
8月							
9月	33.91		33.91			33.91	4.57
10月	49.97				16.66	16.66	6.75
11月	33.38		16.69	16.69		33.38	4.49
12月							

回数	り 災 者 数				計	損失 日数
	死亡	重傷		軽傷		
		4週以上	2週以上 4週未満			
10	1	1	1	2	5	7,597
5			1	1	2	29
11		3	2	2	7	256
1						
1						
2			1	1	2	26
2		2			2	101
3				1	1	12
2		1	1		2	117

稼働延100万時間当たり災害率					強度率
死亡	重傷		軽傷	計	
	4週以上	2週以上 4週未満			
0.20	0.20	0.20	0.40	1.00	1.52
		0.20	0.20	0.40	0.01
	0.59	0.39	0.39	1.37	0.05
		2.28	2.28	4.55	0.06
	4.57			4.57	0.23
			2.25	2.25	0.03
	2.24	2.24		4.49	0.26

釜山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違う場合があります。

第10表 令和3年金属非金属鉱山監督部別災害調

監督部別	稼働数	月報提出数	月末鉱山労働者数	稼働人員	稼働延時間	回数	罹災者数				損日	失数			
							死亡	重傷		軽傷			計		
								4週以上	2週以上 4週未満						
北海道	6	11	121	25,981	211,765										
東北	17	36	299	66,409	513,857	1		1				1	91		
関東	23	26	358	83,869	691,671	2						1	26		
中部	45	45	1,084	284,555	1,900,510	1						1	15		
近畿	27	26	273	50,030	379,221	1						1	11		
中国	16	19	319	64,388	495,403	1						1	57		
四国	6	8	65	14,763	109,992										
九州	16	16	461	101,795	803,133	5						1	56		
那覇	1	1	3	366	1,336										
計	157	188	2,983	692,156	5,106,888	11						3	2	7	256

監督部別	稼働延100万人当たり災害率						稼働延100万時間当たり災害率						強度率	
	回数	死亡	重傷		軽傷	計	回数	死亡	重傷		軽傷	計		
			4週以上	2週以上 4週未満					4週以上	2週以上 4週未満				
北海道														
東北	15.06		15.06			15.06	1.95		1.95				1.95	0.18
関東	23.85			11.92		11.92	2.89			1.45			1.45	0.04
中部	3.51			3.51		3.51	0.53			0.53			0.53	0.01
近畿	19.99				19.99	19.99	2.64				2.64		2.64	0.03
中国	15.53		15.53			15.53	2.02		2.02				2.02	0.12
四国														
九州	49.12		9.82		9.82	19.65	6.23			1.25		1.25	2.49	0.07
那覇														
計	15.89		4.33	2.89	2.89	10.11	2.15		0.59	0.39	0.39	0.39	1.37	0.05

	月末労働者数			稼働延人員			稼働延時間		
	直轄	請負	計	直轄	請負	計	直轄	請負	計
坑内	128	69	197	27,935	14,021	41,956	215,841	110,780	326,621
坑外	2,150	636	2,786	518,112	132,088	650,200	3,775,953	1,004,314	4,780,267
計	2,279	704	2,983	546,047	146,109	692,156	3,991,794	1,115,094	5,106,888

鉱山労働者数は月平均を算出して、計算（四捨五入）により表間で値が違ふ場合があります。

第11表 令和3年金属非金属鉱山事由別災害調

事由	種別	回数	死亡	負傷		合計	損失日数	
				重傷				軽傷
				4週以上	2週以上 4週未満			
坑内	落盤又は側壁の崩壊							
	浮石の落下（前項以外）							
	ガス又は炭じんの爆発							
	ガス中毒又は窒息							
	ガス突出							
	山はね							
	自然発火							
	発破又は火薬類のため	2						
	立坑巻揚装置のため	チェーン又はロープの切断						
		その他						
	前項以外の運搬装置のため	チェーン又はロープの切断						
		鉱車の逸走又は脱線						
		鉱車に接触又は挟撃						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
	コンベアのため	コンベアのため						
		その他						
	出水							
	火災	1						
	機械のため							
	電気のため							
	飛石又は転石							
工具のため								
粉じんのため								
落下物又は倒壊物のため（り災者の持っている物以外）								
取扱中の器材鉱物等のため								
墜落	1		1		1	44		
転倒								
その他								
計		4		1		1	44	
坑外	岩盤の崩壊							
	発破又は火薬類のため							
	火災							
	風水害							
	運搬装置のため	鉱車のため						
		架空索道のため						
		車両系鉱山機械又は自動車のため	1					
		コンベアのため	1		1		1	57
	その他							
	さく井機械のため							
	機械のため（石油鉱山については前項以外）							
	電気のため							
	ボイラーの破裂							
	しゃく熱熔融物のため	1			1		1	
	劇物のため							
	飛石又は転石							
	工具のため							
	粉じんのため							
	落下物又は倒壊物のため（り災者の持っている物以外）							
	取扱中の器材鉱物等のため	3			1	2	3	
	墜落	1		1			1	
転倒								
その他								
計		7		2	2	6	212	
総計		11		3	2	7	256	

第12表 令和3年金属鉱山月別災害調

年月別	稼行 鉱山数	鉱山労働者数	稼働延人員	稼働延時間
令和元年	55	1,517	333,355	2,512,185
令和2年	28	1,576	345,682	2,649,571
令和3年	29	1,603	388,069	2,725,699
1月	28	1,539	29,237	202,116
2月	29	1,576	30,185	202,245
3月	28	1,583	34,379	241,378
4月	28	1,615	32,645	228,905
5月	28	1,631	31,257	223,114
6月	28	1,579	33,379	236,169
7月	29	1,599	33,027	232,773
8月	29	1,606	31,249	219,207
9月	29	1,625	33,399	236,904
10月	29	1,641	33,753	238,301
11月	29	1,646	33,767	240,616
12月	29	1,593	31,792	223,971

年月別	稼働延100万人当たり災害率						回数
	回数	死亡	重傷		軽傷	計	
			4週以上	2週以上 4週未満			
令和元年	15.00						1.99
令和2年	11.57			2.89	2.89	5.79	1.51
令和3年	12.88		2.58	2.58		5.15	1.83
1月	34.20						4.95
2月							
3月							
4月							
5月							
6月	29.96						4.23
7月	30.28			30.28		30.28	4.30
8月							
9月	29.94		29.94			29.94	4.22
10月	29.63						4.20
11月							
12月							

回数	り 災 者 数				損失 日数	
	死亡	重傷		軽傷		計
		4週以上	2週以上 4週未満			
5						
4			1	1	2	29
5		1	1		2	59
1						
1						
1			1		1	15
1		1			1	44
1						

稼働延100万時間当たり災害率					強度率
死亡	重傷		軽傷	計	
	4週以上	2週以上 4週未満			
		0.38	0.38	0.75	0.01
	0.37	0.37		0.73	0.02
		4.30		4.30	0.06
	4.22			4.22	0.19

釜山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違う場合があります。

第 1 3 表 令和 3 年金属鉱山監督部別災害調

監督部別	稼行 鉱山数	月報 提出 鉱山数	月末 鉱山 労働者数	稼働 延人員	稼働 延時間	回数	罹災者数					損日 数
							死亡	重傷		軽傷	計	
								4週以上	2週以上 4週未満			
北海道	5	10	109	23,598	193,820							
東北	6	24	157	31,394	232,118							
関東	2	7	49	10,762	84,277							
中部	1	1	723	209,411	1,336,684	1			1		1	15
近畿	8	7	67	5,765	44,583							
中国	1	4	136	26,831	200,565							
四国		2	14	2,173	14,366							
九州	6	6	348	78,135	619,286	4		1			1	44
那覇												
計	29	61	1,603	388,069	2,725,699	5		1	1		2	59

監督部別	稼働延100万人当たり災害率					稼働延100万時間当たり災害率					強度率		
	回数	死亡	重傷		軽傷	計	回数	死亡	重傷			軽傷	計
			4週以上	2週以上 4週未満					4週以上	2週以上 4週未満			
北海道													
東北													
関東													
中部	4.78			4.78		4.78	0.75			0.75		0.75	0.01
近畿													
中国													
四国													
九州	51.19		12.80			12.80	6.46			1.61		1.61	0.07
那覇													
計	12.88		2.58	2.58		5.15	1.83			0.37		0.73	0.02

	月末労働者数			稼働延人員			稼働延時間		
	直轄	請負	計	直轄	請負	計	直轄	請負	計
坑内	103	69	171	22,101	14,021	36,122	171,021	110,780	281,801
坑外	1,000	431	1,431	261,880	90,067	351,947	1,748,707	695,191	2,443,898
計	1,103	500	1,603	283,981	104,088	388,069	1,919,728	805,971	2,725,699

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算（四捨五入）により表間で値が違ふ場合があります。

第14表 令和3年金属鉱山事由別災害調

事由	種別	回数	死亡	負傷		合計	損失日数	
				重傷				軽傷
				4週以上	2週以上 4週未満			
坑内	落盤又は側壁の崩壊							
	浮石の落下（前項以外）							
	ガス又は炭じんの爆発							
	ガス中毒又は窒息							
	ガス突出							
	山はね							
	自然発火							
	発破又は火薬類のため	2						
	立坑巻揚装置のため	チェーン又はロープの切断						
		その他						
	前項以外の運搬装置のため	チェーン又はロープの切断						
		鉱車の逸走又は脱線						
		鉱車に接触又は挟撃						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
	コンベアのため	コンベアのため						
		その他						
	出水							
	火災	1						
	機械のため							
	電気のため							
飛石又は転石								
工具のため								
粉じんのため								
落下物又は倒壊物のため（り災者の持っている物以外）								
取扱中の器材鉱物等のため								
墜落	1		1		1	44		
転倒								
その他								
計		4		1		1	44	
坑外	岩盤の崩壊							
	発破又は火薬類のため							
	火災							
	風水害							
	運搬装置のため	鉱車のため						
		架空索道のため						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
		コンベアのため						
	その他							
	さく井機械のため							
	機械のため（石油鉱山については前項以外）							
	電気のため							
	ボイラーの破裂							
	しゃく熱熔融物のため	1			1	1	15	
	劇物のため							
	飛石又は転石							
	工具のため							
	粉じんのため							
	落下物又は倒壊物のため（り災者の持っている物以外）							
	取扱中の器材鉱物等のため							
墜落								
転倒								
その他								
計		1		1		1	15	
総計		5		1	1	2	59	

第15表 令和3年非金属鉱山月別災害調

年月別	稼行 鉱山数	鉱山労働者数	稼働延人員	稼働延時間
令和元年	132	1,413	315,269	2,483,977
令和2年	130	1,390	306,034	2,406,937
令和3年	128	1,380	304,087	2,381,189
1月	130	1,352	22,475	176,852
2月	131	1,352	24,400	187,657
3月	131	1,367	26,519	207,765
4月	131	1,385	26,543	208,874
5月	129	1,395	23,818	186,030
6月	129	1,392	26,778	211,749
7月	129	1,398	26,434	206,312
8月	129	1,405	23,850	187,421
9月	129	1,395	25,589	200,369
10月	129	1,385	26,286	206,108
11月	128	1,377	26,151	204,987
12月	128	1,354	25,244	197,065

年月別	稼働延100万人当たり災害率						回数
	回数	死亡	重傷		軽傷	計	
			4週以上	2週以上 4週未満			
令和元年	15.86	3.17	3.17	3.17	6.34	15.86	2.01
令和2年	3.27						0.42
令和3年	19.73		6.58	3.29	6.58	16.44	2.52
1月							
2月							
3月							
4月							
5月							
6月							
7月	37.83				37.83	37.83	4.85
8月							
9月	39.08		39.08			39.08	4.99
10月	76.09				38.04	38.04	9.70
11月	76.48		38.24	38.24		76.48	9.76
12月							

回数	り 災 者 数				損失 日数	
	死亡	重傷		軽傷		計
		4週以上	2週以上 4週未満			
5	1	1	1	2	5	7,597
1						
6		2	1	2	5	197
1				1	1	11
1		1			1	57
2				1	1	12
2		1	1		2	117

稼働延100万時間当たり災害率					強度率
死亡	重傷		軽傷	計	
	4週以上	2週以上 4週未満			
0.40	0.40	0.40	0.81	2.01	3.06
	0.84	0.42	0.84	2.10	0.08
			4.85	4.85	0.05
	4.99			4.99	0.28
			4.85	4.85	0.06
	4.88	4.88		9.76	0.57

釜山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違う場合があります。

第16表 令和3年非金屬鉱山監督部別災害調

監督部別	稼行 鉱山数	月報 提出 鉱山数	月末 鉱山 労働者数	稼働 延人員	稼働 延時間	回数	罹災者数				損日 数	
							死亡	重傷		軽傷		
								4週以上	2週以上 4週未満			
北海道	1	1	12	2,383	17,945							
東北	11	12	142	35,015	281,739	1		1			1	91
関東	21	19	309	73,107	607,394	2			1		1	26
中部	44	44	361	75,144	563,826							
近畿	19	19	206	44,265	334,638	1				1	1	11
中国	15	15	183	37,557	294,838	1		1			1	57
四国	6	6	52	12,590	95,626							
九州	10	10	113	23,660	183,847	1				1	1	12
那覇	1	1	3	366	1,336							
計	128	127	1,380	304,087	2,381,189	6		2	1	2	5	197

監督部別	稼働延100万人当たり災害率				稼働延100万時間当たり災害率				強度率			
	回数	死亡	重傷		軽傷	回数	死亡	重傷				
			4週以上	2週以上 4週未満				4週以上		2週以上 4週未満		
北海道												
東北	28.56		28.56			28.56		3.55			3.55	0.32
関東	27.36			13.68		13.68		3.29		1.65		0.04
中部												
近畿	22.59					22.59					2.99	0.03
中国	26.63		26.63			26.63		3.39			3.39	0.19
四国												
九州	42.27					42.27		5.44			5.44	0.07
那覇												
計	19.73		6.58	3.29	6.58	16.44		2.52		0.84	0.84	0.08

	月末労働者数			稼働延人員			稼働延時間		
	直轄	請負	計	直轄	請負	計	直轄	請負	計
坑内									
坑外	1,150	204	1,354	256,232	42,021	298,253	2,027,246	309,123	2,336,369
計	1,176	204	1,380	262,066	42,021	304,087	2,072,066	309,123	2,381,189

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算（四捨五入）により表間で値が違ふ場合があります。

第17表 令和3年非金属鉱山事由別災害調

事由	種別	回数	死亡	負傷			合計	損失日数	
				重傷		軽傷			
				4週以上	2週以上 4週未満				
坑内	落盤又は側壁の崩壊								
	浮石の落下（前項以外）								
	ガス又は炭じんの爆発								
	ガス中毒又は窒息								
	ガス突出								
	山はね								
	自然発火								
	発破又は火薬類のため								
	立坑巻揚装置のため	チェーン又はロープの切断							
		その他							
	前項以外の運搬装置のため	チェーン又はロープの切断							
		鉱車の逸走又は脱線							
		鉱車に接触又は挟撃							
		車両系鉱山機械又は自動車のため							
	コンベアのため	コンベアのため							
		その他							
	出水								
	火災								
	機械のため								
	電気のため								
	飛石又は転石								
工具のため									
粉じんのため									
落下物又は倒壊物のため（り災者の持っている物以外）									
取扱中の器材鉱物等のため									
墜落									
転倒									
その他									
計									
坑外	岩盤の崩壊								
	発破又は火薬類のため								
	火災								
	風水害								
	運搬装置のため	鉱車のため							
		架空索道のため							
		車両系鉱山機械又は自動車のため	1						
		コンベアのため	1		1		1	57	
	その他								
	さく井機械のため								
	機械のため（石油鉱山については前項以外）								
	電気のため								
	ボイラーの破裂								
	しゃく熱溶融物のため								
	劇物のため								
	飛石又は転石								
	工具のため								
	粉じんのため								
	落下物又は倒壊物のため（り災者の持っている物以外）								
	取扱中の器材鉱物等のため	3			1	2	3	49	
	墜落	1		1			1	91	
転倒									
その他									
計	6		2	1	2	5	197		
総計	6		2	1	2	5	197		

第18表 令和3年石灰石鉱山月別災害調

年月別	稼行 鉱山数	鉱山労働者数	稼働延人員	稼働延時間
令和元年	238	6,419	1,526,267	12,198,528
令和2年	238	6,442	1,506,926	12,063,560
令和3年	232	6,379	1,487,048	11,918,794
1月	238	6,302	115,856	929,659
2月	237	6,269	117,275	945,033
3月	237	6,326	128,131	1,029,499
4月	236	6,397	127,387	1,021,041
5月	236	6,428	118,810	953,600
6月	236	6,421	129,616	1,039,450
7月	236	6,450	128,056	1,027,462
8月	236	6,451	119,255	966,770
9月	236	6,426	125,711	979,689
10月	236	6,386	127,546	1,025,484
11月	234	6,364	126,208	1,014,160
12月	232	6,328	123,197	986,947

年月別	稼働延100万人当たり災害率						回数
	回数	死亡	重傷		軽傷	計	
			4週以上	2週以上 4週未満			
令和元年	23.59	0.66	6.55	1.97	2.62	11.79	2.95
令和2年	17.25	0.66	6.64	1.99	1.33	10.62	2.16
令和3年	12.10		4.71	2.69		7.40	1.51
1月	25.89		8.63			8.63	3.23
2月							
3月	7.80		7.80			7.80	0.97
4月	7.85						0.98
5月	16.83			8.42		8.42	2.10
6月	7.72		7.72			7.72	0.96
7月							
8月	33.54		16.77	8.39		25.16	4.14
9月	7.95			7.95		7.95	1.02
10月	7.84						0.98
11月	15.85			7.92		7.92	1.97
12月	16.23		16.23			16.23	2.03

回数	り 災 者 数					損失 日数
	死亡	重傷		軽傷	計	
		4週以上	2週以上 4週未満			
36	1	10	3	4	18	8,693
26	1	10	3	2	16	8,427
18		7	4		11	584
3		1			1	30
1		1			1	33
1						
2			1		1	50
1		1			1	33
4		2	1		3	205
1			1		1	15
1						
2			1		1	24
2		2			2	194

稼働延100万時間当たり災害率					強度率
死亡	重傷		軽傷	計	
	4週以上	2週以上 4週未満			
0.08	0.82	0.25	0.33	1.48	0.71
0.08	0.83	0.25	0.17	1.33	0.70
	0.59	0.34		0.92	0.05
	1.08			1.08	0.03
	0.97			0.97	0.03
		1.05		1.05	0.05
	0.96			0.96	0.03
	2.07	1.03		3.10	0.21
		1.02		1.02	0.02
		0.99		0.99	0.02
	2.03			2.03	0.20

釜山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が違う場合があります。

第19表 令和3年石灰石鉱山監督部別災害調

監督部別	稼行 鉱山数	月報 提出 鉱山数	月末 鉱山 労働者数	稼働 延人員	稼働 延時間	回数	罹災者数				損日	失数
							死亡	重傷		軽傷		
								4週以上	2週以上 4週未満			
北海道	14	12	337	81,263	649,297	2		1			1	30
東北	19	20	697	163,167	1,317,042	2						
関東	37	37	1,339	317,399	2,603,458	3		2	1		3	133
中部	20	20	900	190,466	1,548,844	3		1	2		3	185
近畿	5	5	165	34,135	274,715							
中国	31	31	1,028	248,300	1,952,529							
四国	9	9	398	94,570	732,447	5		2			2	188
九州	19	19	969	237,097	1,867,147	2		1			1	33
那覇	78	78	546	120,651	973,315	1			1		1	15
計	232	231	6,379	1,487,048	11,918,794	18		7	4		11	584

監督部別	稼働延100万人当たり災害率				稼働延100万時間当たり災害率				強度率	
	回数	死亡	重傷		回数	死亡	重傷			
			4週以上	2週以上 4週未満			4週以上	2週以上 4週未満		
北海道	24.61		12.31		3.08		1.54		1.54	0.05
東北	12.26				1.52					
関東	9.45		6.30	3.15	1.15		0.77	0.38	1.15	0.05
中部	15.75		5.25	10.50	1.94		0.65	1.29	1.94	0.12
近畿										
中国										
四国	52.87		21.15		6.83		2.73		2.73	0.26
九州	8.44		4.22		1.07		0.54		0.54	0.02
那覇	8.29			8.29	1.03			1.03	1.03	0.02
計	12.10		4.71	2.69	1.51		0.59	0.34	0.92	0.05

	月末労働者数			稼働延人員			稼働延時間		
	直轄	請負	計	直轄	請負	計	直轄	請負	計
坑内	111	64	174	26,532	12,863	39,395	209,757	104,702	314,459
坑外	4,110	2,095	6,205	974,076	473,577	1,447,653	7,753,952	3,850,383	11,604,335
計	4,221	2,158	6,379	1,000,608	486,440	1,487,048	7,963,709	3,955,085	11,918,794

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算（四捨五入）により表間で値が違ふ場合があります。

第20表 令和3年石灰石鉱山事由別災害調

事由	種別	回数	死亡	負傷		合計	損失日数	
				重傷				軽傷
				4週以上	2週以上 4週未満			
坑内	落盤又は側壁の崩壊							
	浮石の落下（前項以外）							
	ガス又は炭じんの爆発							
	ガス中毒又は窒息							
	ガス突出							
	山はね							
	自然発火							
	発破又は火薬類のため	1						
	立坑巻揚装置のため	チェーン又はロープの切断						
		その他						
	前項以外の運搬装置のため	チェーン又はロープの切断						
		鉱車の逸走又は脱線						
		鉱車に接触又は挟撃						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
	コンベアのため	コンベアのため						
		その他						
出水								
火災	1							
機械のため								
電気のため								
飛石又は転石								
工具のため								
粉じんのため								
落下物又は倒壊物のため（り災者の持っている物以外）								
取扱中の器材鉱物等のため								
墜落								
転倒								
その他								
計		2						
坑外	岩盤の崩壊							
	発破又は火薬類のため	1						
	火災	4						
	風水害							
	運搬装置のため	鉱車のため						
		架空索道のため						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
		コンベアのため	2		1	1	2	80
	その他							
	さく井機械のため							
	機械のため（石油鉱山については前項以外）	2		1	1	2	170	
	電気のため							
	ボイラーの破裂							
	しゃく熱熔融物のため							
	劇物のため							
	飛石又は転石							
工具のため								
粉じんのため								
落下物又は倒壊物のため（り災者の持っている物以外）								
取扱中の器材鉱物等のため	2		1	1	2	48		
墜落	2		2		2	153		
転倒	3		2	1	3	133		
その他								
計		16		7	4	11	584	
総計		18		7	4	11	584	

第21表 令和3年石油鉱山月別災害調

年月別	稼行 鉱山数	鉱山労働者数	稼働延人員	稼働延時間
令和元年	61	1,440	307,628	2,428,594
令和2年	59	1,411	294,125	2,279,955
令和3年	58	1,402	295,688	2,268,183
1月	59	1,356	27,673	175,812
2月	59	1,369	22,044	169,703
3月	59	1,383	25,447	196,669
4月	59	1,362	24,769	189,259
5月	59	1,419	23,947	185,593
6月	60	1,499	26,255	203,805
7月	60	1,460	27,555	227,779
8月	59	1,439	24,877	200,730
9月	58	1,333	21,125	162,454
10月	58	1,321	23,288	180,114
11月	58	1,462	23,936	184,948
12月	58	1,417	24,772	191,317

年月別	稼働延100万人当たり災害率						回数
	回数	死亡	重傷		軽傷	計	
			4週以上	2週以上 4週未満			
令和元年	16.25					3.25	2.06
令和2年	3.40				3.40	3.40	0.44
令和3年	6.76		6.76			6.76	0.88
1月							
2月							
3月							
4月							
5月							
6月							
7月							
8月							
9月	47.34		47.34			47.34	6.16
10月	42.94		42.94			42.94	5.55
11月							
12月							

回数	り 災 者 数				損失 日数	
	死亡	重傷		軽傷		計
		4週以上	2週以上 4週未満			
5					1	55
1				1	1	5
2		2			2	195
1		1			1	76
1		1			1	119

稼働延100万時間当たり災害率					強度率
死亡	重傷		軽傷	計	
	4週以上	2週以上 4週未満			
				0.41	0.02
			0.44	0.44	0.00
	0.88			0.88	0.09
	6.16			6.16	0.47
	5.55			5.55	0.66

釜山労働者数は月平均を算出しているため、計算(四捨五入)により表間で値が異なる場合があります。

第2.2表 令和3年石油鉱山監督部別災害調

監督部別	稼行 鉱山数	月報 提出 鉱山数	月末 鉱山 労働者数	稼働 延人員	稼働 延時間	回数	罹災者数				損日	失数	
							死亡	重傷		軽傷			
								4週以上	2週以上 4週未満				
北海道	6	6	172	32,171	282,805								
東北	10	11	153	34,327	230,743								
関東	32	32	1,006	218,254	1,701,599	2		2			2		195
中部													
近畿													
中国													
四国													
九州	6	6	56	9,209	51,526								
那覇	4	4	15	1,727	1,510								
計	58	59	1,402	295,688	2,268,183	2		2			2		195

監督部別	稼働延100万人当たり災害率				稼働延100万時間当たり災害率				強度率	
	回数	死亡	重傷		回数	死亡	重傷			
			4週以上	2週以上 4週未満			4週以上	2週以上 4週未満		
北海道										
東北										
関東	9.16		9.16		1.18		1.18			0.11
中部										
近畿										
中国										
四国										
九州										
那覇										
計	6.76		6.76		0.88		0.88			0.09

	月末労働者数			稼働延人員		
	直轄	請負	計	直轄	請負	計
坑内						
坑外	1,157	244	1,402	46,458	337,788	2,268,183
計	1,157	244	1,402	46,458	337,788	2,268,183

鉱山労働者数は月平均を算出しているため、計算（四捨五入）により表間で値が違ふ場合があります。

第23表 令和3年石油鉱山事由別災害調

事由	種別	回数	死亡	負傷		合計	損失日数	
				重傷				軽傷
				4週以上	2週以上 4週未満			
坑内	落盤又は側壁の崩壊							
	浮石の落下（前項以外）							
	ガス又は炭じんの爆発							
	ガス中毒又は窒息							
	ガス突出							
	山はね							
	自然発火							
	発破又は火薬類のため							
	立坑巻揚装置のため	チェン又はロープの切断						
		その他						
	前項以外の運搬装置のため	チェン又はロープの切断						
		鉱車の逸走又は脱線						
		鉱車に接触又は挟撃						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
		コンベアのため						
	その他							
	出水							
	火災							
	機械のため							
	電気のため							
	飛石又は転石							
工具のため								
粉じんのため								
落下物又は倒壊物のため（り災者の持っている物以外）								
取扱中の器材鉱物等のため								
墜落								
転倒								
その他								
計								
坑外	岩盤の崩壊							
	発破又は火薬類のため							
	火災							
	風水害							
	運搬装置のため	鉱車のため						
		架空索道のため						
		車両系鉱山機械又は自動車のため						
		コンベアのため						
	その他							
	さく井機械のため							
	機械のため（石油鉱山については前項以外）							
	電気のため							
	ボイラーの破裂							
	しゃく熱熔融物のため							
	劇物のため							
	飛石又は転石							
	工具のため							
	粉じんのため							
	落下物又は倒壊物のため（り災者の持っている物以外）							
	取扱中の器材鉱物等のため	1		1		1	76	
	墜落	1		1		1	119	
転倒								
その他								
計	2		2		2	195		
総計	2		2		2	195		